

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 事業所名 | スパシウム京都就労支援センターししん      |
| 住所   | 京都市下京区四条大宮東入立中町 5 0 2   |
| 電話番号 | 0 7 5 - 8 1 1 - 8 0 5 6 |

|       |            |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2610481133 |
| 管理者名  | 佐久間 雅美     |
| 対象年度  | 令和 2 年度    |

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

- 1 活動場所:就労支援センターししん
- 2 活動日程:令和2年4月2日~令和2年7月31日
- 3 活動概要:コロナ禍の影響で主力商品(アラビノキャンディー)の販売が大きく落ち込んだ地元企業からの要請を受け、同社長同席で販促会議を開催。利用者が中心となりホームページへの商品掲載、商品宣伝ビラ制作及び近隣の各戸配布、当社ふれあいサロンを利用する高齢者への売り込みなど販売促進に取り組んだ。
- 4 利用者数: A型 5人 職員 2人

## &lt;目的&gt;

- 1 地域連携活動の狙い:A型利用者が中心になって活動し、地域における存在感を向上させることで、障害者の自立に役立てる。
- 2 地域にとってのメリット:部分的に卓越した能力を有する有能な障害者も多く、これら人材を有効に活用できる。
- 3 対象者にとってのメリット:地元における認知度及び好感度を向上させることで、利用者の雇用先の確保につながる。

## &lt;成果&gt;

- 1 実施した結果及び得られた成果  
当社による令和2年中の販売実績は、ネット通販56,000円、直接販売23,000円であり当該地元企業における売り上げでの貢献度は小さなものであったが、目的を共有する一連の活動を通じ、これまでの事務的な関係(軽作業の物品の受け渡し)から、当該企業の社長も含め、気軽に話しかける良好で身近な関係が構築できた。
- 2 課題点  
コロナ禍の現在においては、地域との連携は重要性を増している。利用者の雇用先確保に向け、さらなる連携先の拡大が必要である。

## &lt;活動の様子&gt;



第2回合同販売促進会議の状況

令和2年4月15日、地元企業(中央砂糖株式会社)阿部社長同席のうえ、第2回合同販売促進会議を開催しました。第2回会議では、前回会議で提案されたA型利用者作成にかかるビラの決済、ホームページの掲載予定及び付近の住宅や事業所への各戸訪問によるビラ配布について検討しました。販売促進会議は全3回実施しましたが、阿部社長には3回とも出席いただきました。

緊急事態宣言が解除となった令和2年5月21日から6月末までの間、四条大宮周辺(地元地域)を対象にアラビノキャンディーの宣伝を目的に、利用者による各戸訪問を実施しA型利用者が作成した効能等を記載した宣伝ビラを配布しました。また、家人が在宅していた場合は、4個詰めサンプルをプレゼントするなど販売促進に努めました。

アラビノキャンディー  
正規品 A型利用者が作成した  
宣伝ビラ

各戸訪問してのビラ配布等で活用するために袋詰めしたサンプル品

## 連携先の企業等の意見または評価

## 1 連携した結果に対する意見又は評価

この度は、我が社の商品販売にご協力いただき大変ありがとうございます。今回の活動を通じ、地元には頼りになる事業所があり優秀な若者が障害を克服して頑張っておられることを知りました。大変頼もしくもあり、当面の景気回復は難しいものの、コロナ後の経営にも一筋の光明が見えたと思います。今後ともシシんさんとの連携に勤め、ともに発展できればと考えております。

## 2 今後の連携強化に向けた課題

連携強化には、顔が見え、気楽にもの言える良好な人間関係が重要です。今回の連携活動がコロナ禍の一過性のものではなく、双方のため継続することが重要であると考えます。また、いずれは当社でも障害者の受け入れができるよう社内の環境整備にも取り組んでまいります。

|        |          |      |      |
|--------|----------|------|------|
| 連携先企業名 | 中央砂糖株式会社 | 担当者名 | 阿部 勲 |
|--------|----------|------|------|